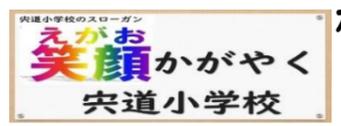


教職員も、子どもも
主体的に参画する学校づくり



松江市立宍道小学校 学校経営グランドデザイン ~すべての子どもの可能性を信じて~

学校スローガンの具現化
【学校教育目標】

想いをもち、力を合わせて 心豊かで たくましく生きる子どもの育成

※想い：
「気づき、思い、考え」

想いをもち…【自立】

- ◎ コミュニケーション力の育成
 - ・ 自分の考えを持つ。自分の思いを大切にする。
 - ・ 「想い」を持つ場面を周囲の大人がしっかりと受け止める。(学習課題、活動に対する主体的な取組の出発点)
 - ・ 自己実現の場の工夫
- ◎ 自分の考えを表出できるように
 - ・ 自分の考えの自覚・表出・明確化
 - ・ 考えを表出できる集団(環境)を基盤とした学びの場づくり
 - ・ 個に応じた学びの実現一人一人の特性を把握
 - ・ 個に応じた学習・活動内容の理解【見通し】
 - ・ 個の学びの支援としての対話のあり方
 - ・ 相互理解の場の工夫(他者理解の基盤)

力を合わせて…【協働】

- ◎ 対話の場・環境(土台)づくり
 - ・ 自分の想いを安心して伝え合うことができる場・集団
- ◎ 多様な想い(価値観)を認め合う人間関係(集団)づくり
 - ・ 自分の想いを安心して伝え合うことができる
- ◎ 想いの表出の手立てとしての協働的学び
 - ・ 他者の多様な考えの相違を認め合い、互いに深め合う学び

心豊かで たくましく生きる子ども

- ◎ 予測不可能な社会を生きる力の基盤
「自立」「協働」の両輪が絡み合うことが土台になって達成する姿
 - ・ 粘り強さ ・ 自信 ・ 人権意識高揚
 - ・ 様々な場面で、自分の想いに折り合いをつける力 等

※ 令和6年度で掲げられた「創造」の姿の実現にもつながる。

子どもを支える教職員の基本姿勢

人権尊重：全児童・全職員の人格と生命を守る。 **同僚性**：何でも相談し合える同僚性を築く。 **責任**：職に対するプロ意識を高める。
誠実：(誠意ある対応)児童及び保護者からの声を真摯に受け止める。 **改善**：自らの職務の改善意識、謙虚な姿勢を持つ。

【学校教育目標を達成するための重点】…教職員が学校運営に参画する重要な視点 **めざす子ども像**

学ぶ意欲を持ち、自分の考え(想い)を持つ子ども

- ① **学力向上**の取組の推進
 - ・ 一人一人の特性を把握した上での個に応じた学びへとつなげる教育の推進
 - ・ 安心できる集団・環境を基盤とした自己実現の場の工夫
- ② **特別支援教育**の推進
 - ・ 子どもの特性を多角的に理解
 - ・ 個々の特性に応じた学びの場の検討
- ③ **架け橋期の教育の充実(幼小連携・接続)を土台とした学びに向かう力**の育成
 - ・ 幼小接続における学びに向かう力の向上(全教職員の理解)
 - ・ 学びに向かう力の土台となる健やかな心と体の育成
 - ・ 幼児教育と小学校教育のつながりを意識した1年生(架け橋期)の実践

自分を人を大切にできる子ども

- ① 全ての子どもにとっての居場所のある学級づくり、学校づくり
 - ・ 全教職員による子ども理解
- ② 全ての教育の基盤としての人権教育の推進
 - ・ 人権意識高揚を土台に、自らを律し、協調性・社会性を育む教育の推進
- ③ **体験活動、縦割班活動(集団づくり)の推進**
 - ・ 集団づくりのねらいの明確化
 - ・ 異学年交流における発達段階に応じたねらい・支援
 - ・ 個の成長を支える体験活動・集団活動の工夫

最後まで粘り強く取り組む子ども

- ① 「見通し」と「活動する意味・意義の理解」への支援・指導
- ② 集団における一人一人の居場所(仲間意識、教職員からの愛情・信頼関係)
- ③ 体育、食育等(体づくり)に係る教育の充実
- ④ 探究的な学習の積み重ねによる、主体的・対話的で深い学びの実現
 - ・ 生活科と総合的な学習の時間のつながり
 - ・ 総合的な学習の時間を中心とした、宍道小学校の探究的な学習の全体計画の見直し

- ◆ 全教職員で共通認識：【子どもが前のめりになる授業】
 - ・ たつじんテストの分析による全教職員のつまずきの理解の深化
 - ・ 個のつまずきに応じた授業改善(各学年部)
- ◆ 架け橋期を土台とした学びに向かう力(非認知能力)の育成
 - ・ 学びに向かう力育成を柱とした円滑な接続のためのカリキュラム検討
※ 経験のプロセス、幼児期の体験を考慮した生活科の単元構成 等
 - ・ 架け橋期の子どもへの切れ目のない支援のあり方検討会
 - ・ 早期からの支援のあり方に関する幼小の情報共有の場

- ◆ 生徒指導(支援)部を中心とした各学年のねらいの系統性を見直し
- ◆ OODA サイクル(迅速かつ適切な状況把握)
 - ・ 各学年部の OODA の見える化
 - ・ 生徒指導(支援)部の全体計画とのつながり

- ◆ 小学校の学びの土台となる、幼児教育施設における遊び(学び)に対する理解
 - ・ しんじ保育園での保育体験等による幼児教育における探究の芽の理解
 - ・ 幼児教育と生活科を中心とした学びのつながりについての幼小の協働による検討

教育活動全体を通して

- ① 地域・保護者との連携を深め、ふるさと宍道に根ざした教育の推進
 - ・ 生活科、総合的な学習の時間における学年の系統性(探究の学びの深まり)
- ② 人権尊重・誠実・責任・改善を基本姿勢とした教職員の資質能力の向上(同僚性を基盤として)

徹底した子ども理解(つまずきの把握)を土台に実現する、すべての子どもの「分かったい」想いを大切に宍道小学校の教育を目指す